

議会だより

No.214

編集：議会広報特別委員会

令和4年度予算審査特別委員会の報告

同委員会は、3月8日・9日・10日の3日間、細川町長の施政方針として地域経済や産業振興の状況を史料し、子育て支援、地域医療、介護の確保、教育環境整備など将来の経済負担も考慮しながら、コロナ対策やゼロカーボン、SDGsにも思索しながら、幌加内町第7次総合振興計画が確実に実行できるよう一般会計41億4325万9000円、特別会計を含めた総額47億2944万8000円を予算編成された新年度予算について慎重に審議を行った結果、原案の通り可決しました。

歳出

一般会計

総務費

中南議員 森林環境譲与税について、本町ではどのような目的の時に使用する考えなのか。

副町長 森林環境譲与税は、基本的には民間、民有林に使用する事になっている。

本町で所有している町有林の財産については使用することができない。民間が整備をする事業に対して使用するのが国の目的となっている。

実際、今すぐ民有林での事業があれば補填などを行えるが民間の方ですぐ使用するのが具体的にないことから、将

来に向けて積立てをしていく形としていく。

衛生費

中南議員 そば殻と汚泥で堆肥を生産するようになるが、作った堆肥は以前のように町民に売ようになるのか。

今後どのような計画をしているのか。

住民課長 今年度についても、パーク堆肥がないことから販売はしていないと産業課より聞いているが、汚泥とそば殻は出るので堆肥の生産は続けていく。一方、堆肥は増えていくので生ごみ同様に希望のある町民について無償で渡したいと考えている。

運用の面もあることから今後

の販売や商品化など、別途考えたい。

中川議員 汚泥堆肥施設費の処分場・パーク作業委託料について、パーク堆肥自体はまだ在庫があるのか。

また、どこに委託をするのか。

住民課長 パーク堆肥については2〜3年前から製造をしていて、現在は在庫がないと把握をしている。今後、住民に渡す物については汚泥等で作ったパーク堆肥となっている。

委託先については、従来の町内業者にパークの管理・生産も含めて処分場の業務も一部担ってほしいと考えている。

中川議員 新しく作る汚泥堆肥について、原材料の汚泥は農業集

落排水の汚泥で、そば殻についてはどこから調達をしているのか。

また、今年度はどのくらいの生産量となるのか。

住民課長 汚泥については、農業集落排水施設から出た汚泥を定期的に入れていく。そば殻については、町内の製粉業者から定期的に出た分を持ち込み、これらを混ぜて生産をしていく。

量については、安定はしていないが年間約150トン程度と聞いている。3年くらい前から作っているので、今まで町民に配布をしていたパークぐらひの量であれば1年分ぐらひはあると考えている。

副町長 今までの経緯について、パークを使って堆肥として品種登録をしていたが、今回、パークもなかなか手に入らない状況のためそば殻に変更した。そば殻を使う事により、堆肥の成分分析や登録をまた新たに行う予定となっている。

使用するところは、現在のところ汚泥とそば殻がどのような効果があるのかを含めて、新年度は、技術センターの試験圃場で使ってみて経過や様子を見ていき、その後、効果があれば町民向けにと考えている。

△農林水産業費▽

中川議員 害獣駆除の関係について、くくり農や箱農などで生

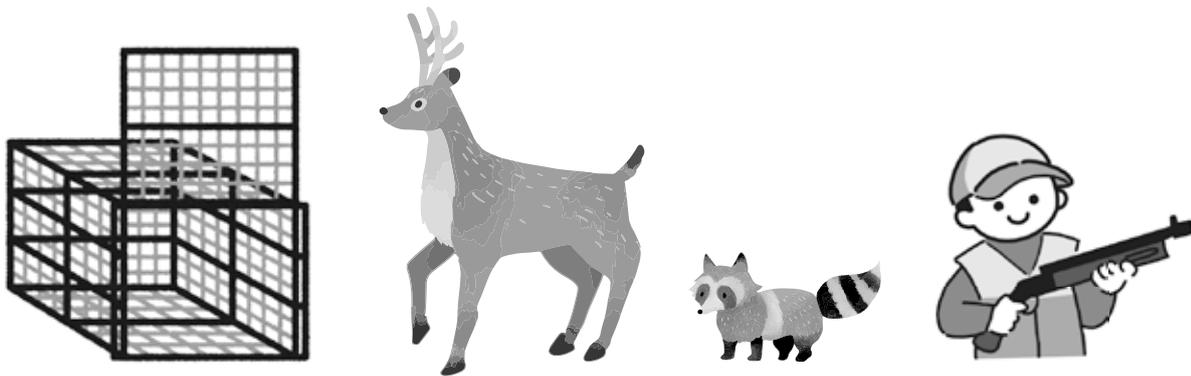
け捕りにした害獣の処分については現状どうしているのか。先日、名寄市の知人に聞いたが、生け捕りにした場合にはスタングンのような物を使用して電気で殺処分をしていると聞いた。

今の幌加内町の害獣対策の現状、また、生け捕りにした場合の処分について危険も伴う事から個人に任せるのではなく、町公所管課で専門の方を置くか、あるいは専門の人に委託してもらうかなどの体制が取れないか。

産業課長 鹿等の鳥獣害については農協が事務局であり農業振興奨励補助金で助成をしている。また、鹿については道からの補助金もあり駆除している。鹿については、猟友会にお願いしたり町内で猟銃を所有している方がいるので、幌加内町に持ってきて証明をもらい焼却処分をしている。

今、アライグマの出没も非常に多くなっていることから、くくり農の免許を持っている現場職員が2名おり、箱農を仕掛け捕れた場合には止め刺しをして

焼却処分をして適切に行っている。



△土木費▽



中川議員 水道の関係について、沼牛地区の雑用水施設を廃止して簡水に接続をすることは以前から住民要望もあり大変良い事だと思う。今までできなかった経緯は、酪農家が1戸あり、簡水になくと水道料が莫大となることから、なかなか進まなかったと聞いている。

現在、酪農業自体は廃業したと聞いているが、まだ牛は飼っていると思われるが当事者との調整はできているのか。

建設課長 拡張工事については、沼牛雑用水地区の関係住民の方とも2度ほど協議をしている。今後、1戸については、牛が減少してくるので現状の頭数と、もう1戸についてもまだ何頭かいるが、それらの頭数を勘案しても供給量に影響がないことから拡張工事に踏み切る予定

である。

中川議員 今まで沼牛地区の飲雑用水を何戸かで管理していたと思われるが、今後町で管理していくのか。町で管理するとなれば、今まで設置していなかった個々の水道メーターを設置するのか。

それと、滅菌装置もあったが現在使用していないが、今後その辺りも使っていくのか。

建設課長 管理については、簡易水道になくことから現在の沼牛施設は休止扱いとなり、ほぼ管理をする予定がないため滅菌等も使う予定はない。

また、水道メーター等については、今回の拡張工事の中でメーター器を設置し、通常の簡易水道料金等で徴収をする予定としている。



★ 議会を傍聴してみませんか ★

議会の
開催時期

- ・第1回定例会 3月中旬
- ・予算審査特別委員会 3月中旬
- ・第2回定例会 6月中旬～下旬
- ・第3回定例会 9月中旬
- ・決算審査特別委員会 10月中旬～下旬
- ・第4回定例会 12月中旬

議会事務局／公民館3階

☎ 0165-35-2121 (内線373)

※傍聴される方は、受付票に「住所」「氏名」を記載して投函して下さい。

※新型コロナウイルスの感染予防としてマスクの着用をお願いします。

教育費



稲見議員 幌加内高等学校の温室について、年中稼働していると思われるが、高校の授業で冬の温室等のように使用しているのか。

教育次長 幌加内高等学校の温室の使用について、温室自体は3つのブロックに分かれています。成育温室、水耕温室、教材用の温室があり、それぞれ温度が違う部屋を用意しています。花や野菜の育苗、栽培等を季節ごとにローテーションを組んで移動している。冬期間は寒さに強い花を温度の低いところからスタートして、少しずつずらして環境に慣らせていく。

幌加内高等学校の温室については、六次産業化の中の生産の一つの大きな施設とされていることから、教育委員会としても修繕等を行っていき進めていき

たいと考えている。

中川議員 給食費の関係について、小学校、中学校とも今年も値上げはしないとの説明があった。最近の食材費の状況を見ると特に小麦製品や油製品などが相当値上がりしている。

今までのルールとしては材料費については給食費で負担してもらう。光熱費や厨房費は町側で負担してもらう。据え置きのは大変良いと思うが、昨今の事情も考慮しての食材費の予算計上なのか。

教育次長 食材費等値上がりしているのが現状だが、現在、学校給食に関してはある程度、冷凍食品などを大量に購入し、それを何回かにわけてローテーションを組みながら献立をたてていることから、今のところ材料費については低く抑えられている状況である。

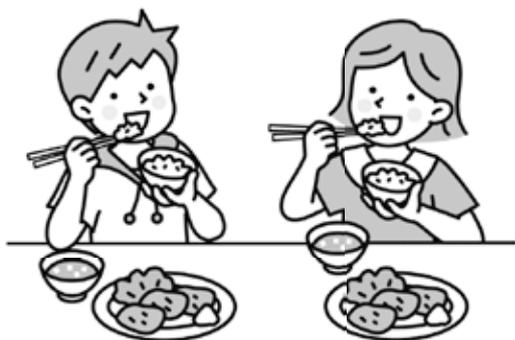
学校給食の運営委員会等についても、ここ何年かはコロナの影響で開催されていないが、委員会の中でも改めてこのような状況であることを説明して保護者等の意見がそろえば今後値上げをしていくのも良いかと考えているが、現在は工夫等によっ

て抑えられている。

中川議員 小学校、中学校、高等学校、寄宿舎等の備品購入について、学校や寄宿舎から要望が上がってきたものを予算計上しているとの説明であったが、本当に必要な物なのか。

教育委員会サイドでは審査をしているのか。

教育次長 各学校からの要望については、教育委員会でも内容を確認して取捨をしたり、また内容によっては来年度以降にするなどの話しをして、調整を行っている。



蔵前議員 中央公民館耐震改修工事について、耐震化をしたとすれば耐用年数はどれぐらいか。

副町長 耐震化後の耐用年数は、工事後も変更はない。

中川議員 耐震化工事について、現在は白紙となっているが機械室の問題等いろいろと検討をした時点で最低改修を行わないといけない項目もあったと思われる。

まちづくりビジョンの提言でも、それに類するものが何件もあったが、今回、計上をしている工事請負費はどの範囲まで行うのか。

町長 中央公民館の改修を白紙に戻した時に、一応避難所の指定を受けている事から必要最小限の耐震化を行う事で設計を組んでいる。その他については手をつける予算とはなっていない。



い。

まちづくりビジョンの中ではここを取り壊して新たなコンパクトな建物、これが有力であるとの提言も受けている。この施設自体はまだ耐用年数があり、用途変更も割と行いやすい環境となっているが、取り壊すとなれば、まだ耐用年数等もあるのを実現するにしてもまだ数年はかかると思われる。とりあえず耐震を行い、今後どのように活用していくのか見極めていきたい。



中央公民館

稲見議員 生涯学習センター費の特別修繕料について、吊り下げ物の改修に高額な金額がかかるとの説明であったが具体的にどういったところを改修するのか。

教育次長 具体的にはステージ上に幕があるが、その辺の幕やスポットライトを吊るしているものや手で下ろしているものなどについて改修をしてワイヤー等を交換し強度を高める。または安全性を高める工事を行う。



中南議員 町民プール管理業務委託料について、昨年度より100万円以上上がっているが1年でこれだけ上がる理由は何か。

教育次長 町民プール管理業務委託料については、去年まで幌加内町民プールを管理委託料としていた。今年度は朱鞠内のプールについても管理委託を組

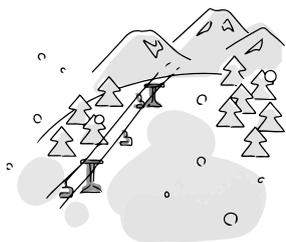
みたいと考えている事から、その分の予算を計上している。



藤井議員 特別修繕料について、スキー場の圧雪車をオーバーホールするとの説明があったが、今年は結構壊れたとの情報もあるが、更新する考えはないのか。

社会教育主幹 圧雪車については、去年油圧ポンプが突如動かなくなり交換をしている。

圧雪車については修理費も結構かかっていることから今ローリングに上げている状況であり、令和5年か6年には更新をしていきたいと考えている。



特別会計

△奨学資金特別会計▽

中川議員 貸付限度額について、高校、大学、専門学校とあるが現状それぞれ幾らとなっているのか。

また、いつからこのままなのか。

教育次長 金額については、大学、専門学校は年間36万円、医科大学は144万円、高校は年間18万円、幌加内高校生は12万円となっている。

いつからこのままなのかの質問については、今資料がないため回答できない。

中川議員 大学の授業料にしても生活費にしてもかなり上がってきている。

特に最近ではコロナの関係で学生もアルバイト類がないため、親の仕送りや奨学資金が本来に生活の糧となってくる。そのような状況を考えると、もう少し貸付けの限度額を上げることも検討をすべきと考えるが今回の予算計上については検討の経緯はあったのか。

教育次長 現在この限度額の引き上げ等については、検討をしていないのが事実である。

今後、奨学資金運営委員会等がある中で、このような意見があった旨を説明し検討材料にしたい。



●議会事務局からのお願い●

議長宛の文書や案内状は、議長公務の日程を調整する必要がありますので、直接議会事務局へ送付願います。

(送付先) 〒074-0492 北海道雨竜郡幌加内町字幌加内 4699 番地
幌加内町議会事務局宛